

持続母音および文章音読サンプルを用いた音響分析法の信頼性および妥当性についての後向き臨床研究

1. 研究の対象

2017年5月1日から2019年4月30日までに、地域医療機能推進機構大阪病院の耳鼻咽喉科を受診し、音響分析あるいは音声機能検査を行った患者さん。

2. 研究目的・方法

声の障害を持つ患者さんにとって、「声の良し悪し」は患者さんの悩みそのものに直結し、それを改善させることが声の治療の目的となることがほとんどです。しかしながら、「声の良し悪し」は人間が直感的に感じる感覚であるため、患者さんの声の重症度や声の治療の効果を評価するためには何らかの客観的な指標が必要になります。これまで過去に、様々な音響分析的指標が用いられてきましたが、分析の技術的限界から持続母音発声に対する評価に留まっていました。当研究の目的は、過去に有効性がある程度証明された方法を用いて、持続母音発声よりも日常の声の使い方に近い「文章音読サンプル」を対象とした音響分析法の信頼性と妥当性を評価し確立することです。この検査方法が確立できれば、これまでの検査よりも患者さんの声の症状に一致した評価が可能となり、医療者にとって患者さんの主訴や治療後の声の変化をより正確に把握できるようになります。

3. 研究に用いる情報の種類

すでに保存されている録音データや病歴などの情報をこの研究に使わせていただきます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒553-0003 大阪市福島区福島 4-3-78

地域医療機能推進機構 大阪病院 耳鼻咽喉科

電話番号：06-6441-5451

研究責任者： 耳鼻咽喉科 小川 真